

秋田公立美術大学大学院

複合芸術研究科

Akita University of Art
Graduate School of Transdisciplinary Arts



2020年度
修士課程 / 博士課程

入学生
募集

芸術の複合的な研究を実践する全国唯一の美術系大学院

秋田公立美術大学は、現代芸術を「複合」の観点から研究する「複合芸術研究科」を設置しました。

「複合」とは、単に二つ以上のものが集まって一つになるだけではなく、異なる領域への越境や手法の併用によって価値の相乗効果を生み、それまでに存在しなかった新たな次元を創造することを指します。

現代芸術の研究では、表現者の内と外にある「複合」に着目する必要があります。

内にある「複合」とは個人の中に蓄積される表現技術や知識、視野などを掛け合わせて生み出そうとする過程であり、外にある「複合」とは、対象とするテーマを取り巻く背景や人、制約などの状況を捉えて連携・協働・誘導することによって、多様な気づきや広がりが生まれる過程です。

この二つの「複合」からなる現代芸術について、その領域を拡張していくため、事象の複合性に着目した芸術理論の学び、領域を横断した表現拡張の研鑽、社会に即応し具体的な提案から実践を行う実習などを通じて、自らのテーマに基づいた研究を行います。そして、学際的な領域横断の試みと多様な表現を通じて、人と人、人と社会をつなぐ、各領域で即戦力として活躍できる人材を育成していきます。

● 研究の目的

社会との関係性を深めながら領域を拡大している現代芸術を「複合の視点」から研究し、理論化・体系化する。

TRANSDISCIPLINARY ARTS

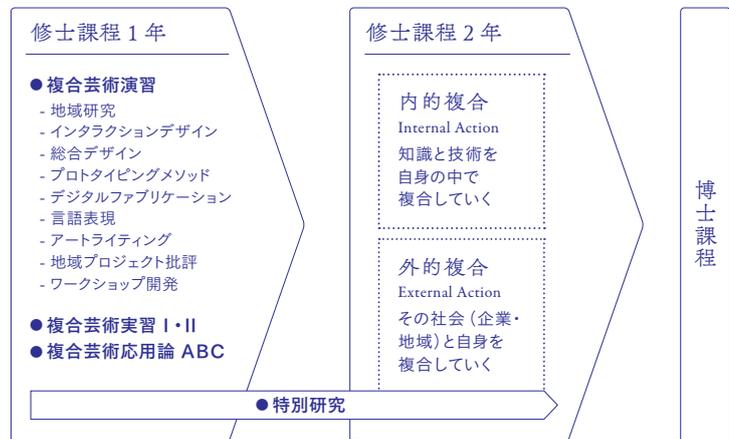
[複合芸術とは？]

「複合芸術は、自身の技術や資質を他の専門領域との交わりを通して拡張させる『内的運動』と、外部の社会に介入しそこにある諸要素の複合を積極的に推し進める『外的運動』の並走によって実現する。前者では、素材・技術・手法の尽きることのない複合の試みを通して新たな表現者の力が提案され、後者からは、潜在的な社会的課題が発見されながら新しい役割と社会のかたちが提示される。専門分化した芸術各領域の『型(かた)』を認めつつ、それを積極的にはぐらかし解体する自由で柔軟な想像力と、新たな表現領域や社会的価値の創造の上に、複合芸術は成立する。」

CURRICULUM

[大学院修士課程の流れ]

本研究科は、現代芸術の「複合」性を理解し、深く考察する講義と、集中的に様々な技法や手法を経験する演習、さらには、これらの学びを踏まえた実社会での実習を行いながら、自らの研究テーマを掘り下げていくカリキュラムとしています。作品を創り出すだけではなく、社会とのつながりや社会への発信を意識したカリキュラムとしています。



AREA OF STUDY

[研究領域]

芸術活動	技法・領域・媒体を横断する新たな表現方法の開拓と実践
芸術理論	美術史・芸術学・人類学・博物学などを包含する拡張された創造性の探究
アートマネジメント	企画・広報・運営管理などを含むプロジェクトのマネジメント手法と実践
ソーシャルデザイン	プロダクト・グラフィック・情報など多様なデザイン手法の実践と研究
情報	情報学、工学を背景とした芸術実践表現技術の研究と開発
映像	映像制作・アーカイブ・発信による表現手法の開発と研究
アーバン・スタディーズ	都市生成メカニズムをもとにしたコミュニティ指向型プロジェクト

●入試情報

修士課程 (定員10名)	一般推薦	-出願期間：2019年7月22日(月)～8月7日(水) -試験日程：2019年9月7日(土) -合格発表：2019年9月12日(木) -選考方法：プレゼンテーション・面接
	第1期募集	-出願期間：2019年10月8日(火)～15日(火) -試験日程：2019年11月9日(土) -合格発表：2019年11月22日(金) -選考方法：書類審査・記述試験・プレゼンテーション・面接
	第2期募集	-出願期間：2020年2月4日(火)～12日(水) -試験日程：2020年2月29日(土) -合格発表：2020年3月4日(水) -選考方法：書類審査・記述試験・プレゼンテーション・面接
博士課程 (定員2名)	一般選抜	-出願期間：2019年10月8日(火)～15日(火) -試験日程：2019年11月9日(土) -合格発表：2019年11月22日(金) -選考方法：書類審査・記述試験・プレゼンテーション・面接

●学生募集要項の請求方法

1. 大学へ直接請求する場合

返信用封筒(角形2号)にご自分の郵便番号・住所、氏名を明記の上、下記の郵送料分の切手を添付し、請求表示(大学院学生募集要項請求「修士課程」「博士課程」の別を記載)を朱書きした大学宛の封筒に入れ、下記請求先までお送りください。

郵送料 | 学生募集要項のみ 180円

申込先 | 〒010-1632 秋田市新屋大川町12-3 秋田公立美術大学事務局 学生課

2. 窓口で直接入手する場合

本学キャンパス内の事務局学生課で配付していますので、直接お越しください。

受付時間 | 8:30～17:15 月曜日～金曜日(土日祝日・年末年始は除く)

Tel: 018-888-8105 Mail: kyomu@akibi.ac.jp

●入試に関するお問い合わせ

〒010-1632 秋田市新屋大川町12-3 秋田公立美術大学事務局学生課

Tel: 018-888-8105 Mail: kyomu@akibi.ac.jp 詳細は大学院HPをご覧ください。

<http://www.akibi.ac.jp/daigakuin/>

INFORMATION

進学相談会@オープンキャンパス

[日時]

第1回 2019年7月27日(土) 9:30-15:30

第2回 2019年9月21日(土) 9:30-15:30

(第2回は大学祭と共催)

[場所]

大学院棟1階(G1S)

オープンキャンパスにて大学院による作品展示・研究発表、および入試やカリキュラム等の質問に対応する進学相談コーナーを設けております。校舎や設備の見学も可能です。みなさまのご来場をお待ちしております。

複合芸術研究科 第2期生修了研究展

2020年2月中旬に「秋田公立美術大学大学院 複合芸術研究科 複合芸術専攻 第2期生修了研究展」を開催します。多様な修士研究をはじめ、ゲストを招いたトークイベントや学生企画によるイベント・パフォーマンスなどを予定しています。大学院の公式サイトで公開していきますので、詳しい情報はそちらをご参照ください。

秋田公立美術大学
AKITA UNIVERSITY OF ART

Instagram: @akibigrad

Twitter: @AkibiGrad

Facebook: @grad.akibi

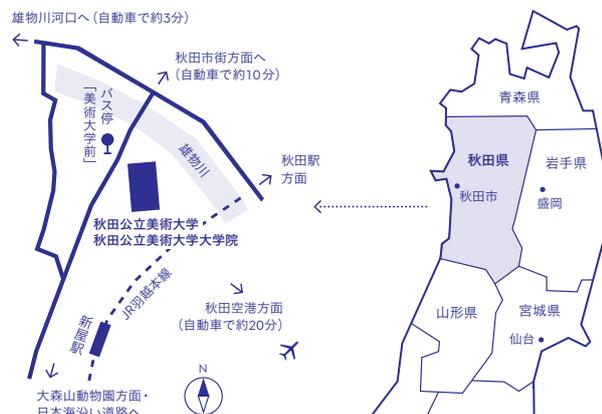


ACCESS

JR「秋田駅」から羽越本線「新屋駅」下車 新屋駅から徒歩15分
JR「秋田駅」から秋田中央交通バス 新屋線「美術大学前」下車 徒歩1分

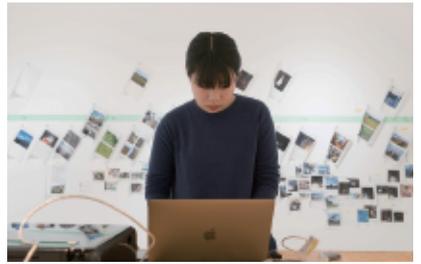
秋田新幹線	東京駅	秋田駅	3時間49分
飛行機	羽田空港	秋田空港	65分
	伊丹空港	秋田空港	80分
	中部国際空港	秋田空港	85分
	新千歳空港	秋田空港	55分

秋田公立美術大学大学院 複合芸術研究科
〒010-1632 秋田県秋田市新屋大川町12-3
Tel: 018-888-8100 <http://www.akibi.ac.jp/daigakuin/>





オープンキャンパスでの研究紹介展示



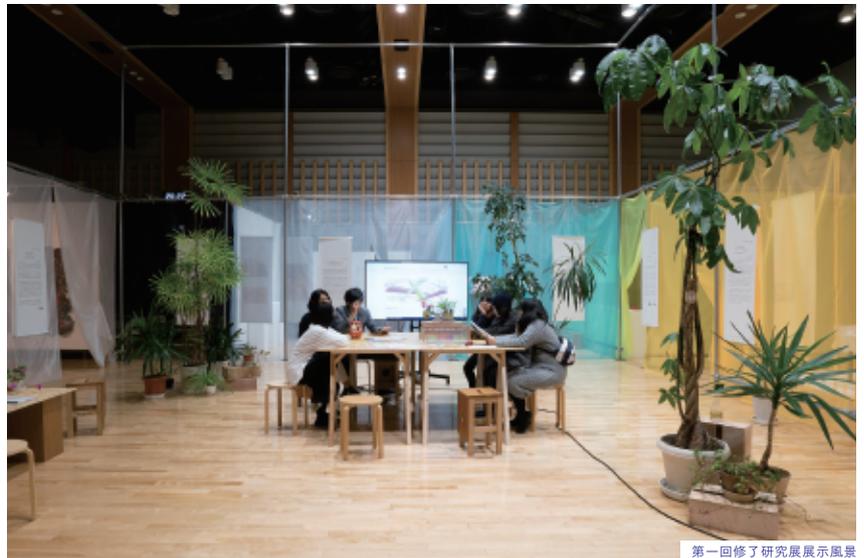
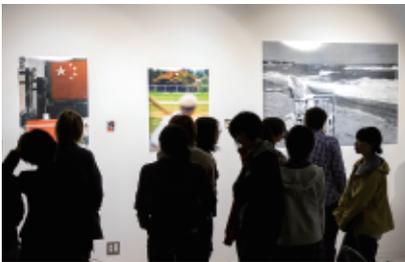
田沢湖でのフィールドワーク



海外アーティストとの交流



複合芸術実習1での焚き火プロジェクト



第一回修了研究展展示風景

〔 在学生の声 〕

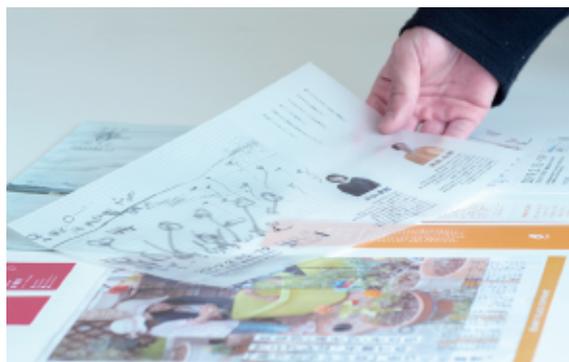
からだを観察、
開拓、
発信。

これまで音楽学部にも所属して、自分の身体を使う作品を作っていました。そのなかで「なんでみんなもっとおどらないんだろう?」と考えるようになりました。‘おどる’といっても振付どおりのダンスではなく、たとえば驚いたときのリアクションだったり、何かを伝えたいときの身振りだったり、鼻歌をうたうように自然に身体が動いてしまったり、大人になるにつれて型にはめられて忘れていってしまうような身体の状態、そのような踊りを「キウイダンス」と勝手に名付けて探求しています。

秋田では、身体を動かすのにちょうど良い土がたくさんあるので毎日体操し、近所のおばあちゃんと話をします。半分くらい言ってることがわからないので秋田弁のリスニングを頑張りたいです。自分の身体を観察して、自分のおどりの源を探ったり開拓したり、それを発信する必要があるなと思っています。朝から寝る時まで、一定の速度で頭を動かすことができるのも良いですね。たぶん遭遇する人の量が私に合ってますね。



日比野桃子 Hibino Momoko
東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科卒業



人を繋げる結び目として。

これまで自分が学んできたグラフィックデザインという手段を軸に、人と人とが繋がる仕組みやきっかけの作り方について考えています。

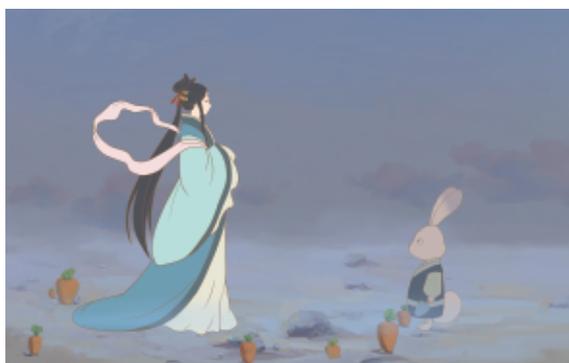
この大学も、秋田も、狭い世界でありながら大きな可能性を秘めている場所だと感じます。自分の活動があつという間に知れ渡り、知り合いが知り合いを呼び、視野が広がってゆくようなアクションの速さはこの場所ならではのスピード感だと思っています。それは自分にとって知られたい事であつても然りですので、悪いことはできません(笑)。高校を出るタイミングで京都から秋田に来ました。もう6年目なので、学内外問わず少しずつ知り合いが増えて来ました。これからは、その知り合いと知り合いを繋げる結び目の役割を担いたいです。例えば、自分の表現の場所を求めている美大生と、何かオモシロイことをやりたがっている街の人など。求めている人同士を繋げて、街全体が元気になれば良いなと思います。それを僕が手がける作品や活動から自然にできれば最高です。



城 智史 Joe Satoshi
秋田公立美術大学美術学部コミュニケーションデザイン専攻卒業

デジタル表現と伝統文化。

私は子供の頃からアニメを見て育ちました。特にファンタジーを感じる物語が好きです。アニメには私たちの感受性や考え方を柔軟させる力があると思います。学部はアニメーション専攻に進み、卒業後はゲーム会社で3年間働きました。現場での制作で、若い世代とデジタル表現の相性の良さに気がつきました。例えば歴史を扱ったゲームのように、古い伝統文化でもデジタルメディアの中で展開させると、若者は自然と受け入れ積極的な学びを引き出しています。その構造を研究し、制作に取り入れようと考え、仕事を辞めて大学院に来ました。秋田の魅力は「民俗」と「静」だと思います。秋田は伝統を尊重し文化を守る態度を持っています。我々の世代が新しいメディアで伝統文化を生かすことは一つの「保存」だと思います。秋田の環境のなかで「自然」と「人間」というキーワードを組み合わせ、人びとの共感を呼び起こす、アニメーション絵巻物を制作します。



周 思思 Zhou Sisi
四川美術学院アニメーション専攻卒業

〔 学ぶ時間、創る空間 〕

東北・秋田を拠点とし、世界に発信する。多様な研究を支える環境を整えています。



G1S

作品展示、研究発表、トークイベント、ワークショップなど多用途に対応するスタジオ。木材や金属などの素材加工をおこなう工作室、多彩な映像音響機材、3DプリンタやCNC等のデジタルファブリケーション機器を有しています。



院生室

大学院生に個人のスペースとノートPCが貸与されます。プリンタ等の出力機器と授業やミーティングに対応する共有スペースを配備しています。図書館やキッチン併設し、24時間出入り可能なため、いつでも研究に打ち込めます。



大学附属図書館

アート・工芸・デザイン関係の幅広い文献、雑誌や新聞、映像資料に各種データベース等…様々な蔵書が充実しています。美術関連のみならず、幅広い個人の研究志向に合わせ、新たな分野の書籍の収集もサポートします。



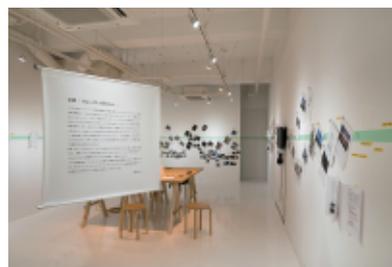
アラヤイチノ・新屋 NINO・あらやさん

新屋地域の方々からお借りしている「空き家」を活用した3軒のスペースです。作品発表や自主企画のライブイベント、パーティー、アーティストレジデンスでのゲスト宿泊など、大学の外で様々な実践が可能です。



アーツセンターあきた

秋田公立美術大学が設立したNPO法人。多彩な教授陣が展開する数々のプロジェクトや研究成果といった美大のリソースと地域を繋げ、アートやデザインを用いて新たなプロジェクトに取り組んでいます。



ビヨングポイント
BIYONG POINT

CNA秋田ケーブルテレビと大学が運営するホワイトキューブギャラリー。実験的な展覧会やプロジェクトの企画を進めるとともに、多くの人に、より芸術に親しんでいただくエデュケーション・プログラムも実践しています。

FACULTY

〔 研究指導教員 〕

幅広い研究領域をサポートする大学院の指導教員



小田英之
Hideyuki Oda
研究科長/
ビジュアルアート



尾登誠一
Seiichi Onobori
ソーシャルデザイン



白杉悦雄
Shirasugi Etsuo
比較文化学/
文化史



藤浩志
Hiroshi Fuji
アートプロジェクト



岩井成昭
Shigeaki Iwai
複合芸術トライアル



今中隆介
Ryusuke Imanaka
プロダクトデザイン



志邨匠子
Shoko Shimura
美術史



岸健太
Kenta Kishi
アーバン・
スタディーズ



飯倉宏治
Koji Igura
情報科学



石倉敏明
Toshiaki Ishikura
芸術人類学/
神話学



萩原健一
Kenichi Hagihara
映像メディア



服部浩之
Hiroyuki Hattori
アートマネジメント・
キュレーション



唐澤太輔
Karasawa Taisuke
哲学/文化人類学